

植え込み型人工補助心臓植え込み術前後における安静時代謝量の変化に関する研究

研究概要

NST では入院中栄養不良が疑われる患者さんを対象に毎週木曜日に NST 回診を行い、主科の先生と相談しながら適切な栄養管理を目指しております。診療の一環として間接熱量計と呼ばれる機械で患者さんの基礎代謝の測定を行い、適切な目標エネルギー量を算出しています。特に心移植の適応となるような重症心不全患者さんにおいては、植え込み型人工心臓を植え込む手術が大きな侵襲となりうることから、手術前から基礎代謝の測定を行い、栄養状態の改善を図っています。術後心臓の負担が取れた状態において、必要エネルギー量に変化するかどうかは現段階では知られておりません。しかし退院後の食事管理に必要な指標であることから、NST では術後にも同様の測定を行い、患者さんの栄養管理に役立てています。本研究では手術により基礎代謝がどう変わるかを比べて検討することを目的としています。

研究参加施設

大阪大学医学部附属病院

研究の開示

本研究の結果は、個人が特定できない形式で学術会議や学術雑誌において公表する予定です。なお、本研究の成果物は本研究に登録された患者さんには属しません。

倫理的配慮、個人情報の扱いについて

本研究は厚生労働省「疫学研究に関する倫理指針」を遵守して実施されます。本研究では、NST 回診の対象となった患者さまに関して、カルテに記載された内容のみを対象としデータ解析いたします。したがって本研究のために新たな検査、治療法が追加されることはありません。また、データは匿名化することで個人情報は消去いたします。

通常の診療で得られた過去の内容のみを使用する研究ですので、患者さま一人ずつの直接の同意はいただくずに、この掲示になどによる患者さまへのお知らせをもって実施されます。患者さまにおかれましては研究の主旨をご理解頂き、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

万一、この研究への参加を希望されない場合、途中から参加取りやめを希望される場合には主治医に直接お申し出いただくか、下記の大阪大学大学院医学系研究科の下記の連絡先にご連絡下さい。

また、研究に対しての質問・苦情等がございましたら、大阪大学大学院医学系研究科の下記の連絡先にご連絡下さい。

本研究に関する連絡先

大阪大学医学部附属病院

松本 佳也

Tel: 06-6879-5282

研究機関名/研究責任者

大阪大学大学院医学系研究科栄養管理室

(研究責任者：和佐 勝史 大阪大学医科学教育センター)